

めざす姿

ふるさとを愛し、相互啓発の高い志で社会を支える生徒

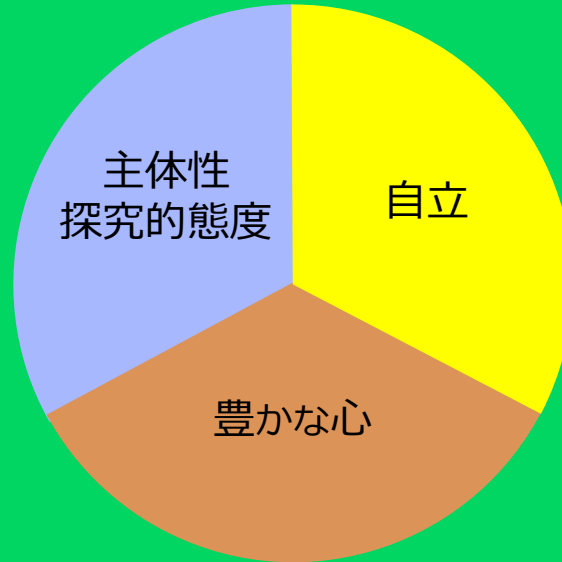
- 思考・協働・言語活動を重視した授業
- 地域や大学と連携した探究活動
- 五高サポーターによる資格取得の推進

具体的取組

- ・ ICTを活用した五高Basicの工夫
- ・ 各教科版「アクティブ・ラーニング」の推進
- ・ 地域課題解決や大学の研究領域に踏み込む探究型授業の設置
- ・ コースの特徴を生かした資格取得体制の整備

推進指標

- ☆ 授業アンケート評価 (4.5 → 4.6)
- ☆ 課題解決型学習 (2 → 全科目)
- ☆ 資格取得率及び合格率アップ



- 計画的・系統的進路ガイダンス
- 自立意識と職業観の形成
- 県内就職の開拓
- 進学指導の充実

具体的取組

- ・ 3年間の系統的ガイダンス計画立案と実践
- ・ 個に応じたきめ細かい面談・補習・添削指導の充実
- ・ コミュニケーション能力向上に資する講座等の計画的実施
- ・ 2年全員のインターンシップ参加による自立促進
- ・ 就職支援員との連携による県内企業訪問実施

推進指標

- ☆ 進路決定率 (100%の継続)
- ☆ 県内就職率 (61% → 70%)
- ☆ 国公立大・看護系入学者 (3 → 10名)

- 規律ある生活習慣の確立
- 部活動・地域貢献の活性化
- 自治的態度の養成
- インクルーシブ教育の推進

具体的取組

- ・ 整容・挨拶・マナー等の組織的指導の継続・実践
- ・ 生徒会主体による、いじめ防止と安全な学校環境づくり運動の展開
- ・ 部活動入部率の向上
- ・ 障がい理解と互助意識涵養活動の実施
- ・ 主権者教育の活性化

推進指標

- ☆ 皆勤生徒数 (9 → 20名)
- ☆ 部活動加入率 (84.3% → 90%)
- ☆ 全国大会出場 (2 → 3部)
- ☆ 地域貢献 (22 → 30回)

維持向上

生徒の現状

- 進路決定率100%
- 五高Basic効果
- 規範意識向上
- 部活動の活躍
- 地域連携の拡大

維持向上

環境

- 地域の元気
- 教育振興会充実
- 県内外企業・大学との信頼関係

課題解決

課題

- △ 少子化・学力の転換期
- 地域教育力の活用
- 五高サポーター制度の拡大

五城目高校中期ビジョン（5か年計画）

①学校の現状や課題

- 進路決定率100%** 多様な進路希望に対応するため、計画的なキャリア教育を展開している。2年次からはコース制を設定し、ここ数年進路決定率100%を続けている。
- 「五高ベーシック」の定着** 平成23年度から、学び直し教科「五高ベーシック」を教育課程の中に位置付けて基礎学力定着を図っている。分かる喜びを重視する丁寧な指導が内外に定着してきた。
- 生徒指導の力点** 社会生活の基本でもある**整容・挨拶・言葉遣い**に力を入れ指導している。さらに**日常的な規範意識の育成**を図っている。
- 部活動の活躍** 勉強以外での活躍の場として部活動を奨励している。レスリングや弓道等、得意競技では**毎年のように全国大会に出場**している。部活動加入率向上と部の精選が課題である。
- 生徒数減の中で** 平成20年頃をピークに受検者が増加したが、生徒数の減少が進行する中でここ数年定員を割っている。この状況下で、**特色を持ったさらに魅力ある学校づくり**が課題である。
- 湖東の砦として** 湖東地区唯一の高校として、地元中学校から本校入学者の**6～7割**を集め、インターシップや地域貢献活動、※「五高サポーター」等、積極的な地域との連携を進めている。
注) ※「五高サポーター」…教育振興会の会員を募り、その会費を本校の生徒の資格取得や部活動強化等に充てようとするもの。

②学校を取り巻く将来の状況と予測

湖東地区中学校5校（羽城中、五城目一中、八郎潟中、井川中、大潟中）											5年目
現在											
入学年	H22年 4月	H23年 4月	H24年 4月	H25年 4月	H26年 4月	H27年 4月	H28年 4月	H29年 4月	H30年 4月	H31年 4月	H32年 4月
現学年					高3	高2	高1	中3	中2	中1	小6
全卒業生	390	355	326	310	299	322	307	285	243	280	265
本校入学者	74	72	69	61	67	56	60				(68)
入学者の割合	19%	20%	21%	20%	22%	17%	20%			➤	(25%)
秋田市卒業生		2998	3073	2937	2920	2801	2799	2720	2707	2600	2563
本校入学者	36	39	24	36	24	36	24				(21)
入学者の割合		1.3%	0.8%	1.2%	0.8%	1.2%	0.9%			➤	(0.8%)
定員	120人(40人×3クラス)						105人(35人×3クラス)				
入学者数	120	117	111	111	106	101	100				(105人)
地元の割合	62%	62%	62%	55%	63%	55%	60%				(68人) 65%
秋田市の割合	30%	33%	22%	32%	23%	36%	24%				(21人) 20%
その他の割合	8%	5%	16%	13%	14%	9%	16%				(16人) 15%

10 6 18 14 15 9 16 (天王・天王南・琴丘・山本他)

- 少子化の大波** 平成27年度から、定員が120名から105名へと減少した(40人から35人学級へ)。地元中学校卒業生の20%前後、秋田市中学校卒業生の1%前後が本校に入学している。湖東地区の中学生の減少進行に伴い、定員確保が課題である。
- 五高生の役割** 五城目町は秋田県の中でも高齢化率の高い地域であり、“元気の象徴”としてこの地区唯一の高校への期待が大きくなっている。
- 雇用情勢** これまで企業からの学校に対する信頼を基盤として求人を確保してきた。これは県外就職でも、推薦を主とする進学でも事情は同じで、生徒のキャリアアップ実現と共に、今後ますます進路先との信頼関係の拡大と深化が求められる。
- 経済情勢** 流動的な社会・経済状況により、高校生活や進路選択への影響が心配される。

③目指す方向性や学校像

湖東地区

唯一の高校として、

- ・個々の力に応じ、基礎から応用まで学習できる
 - ・多様な進路に対応できる
 - ・全員が進路を決めて卒業できる
 - ・安心して学べる
 - ・地域から応援してもらえる
- 学校を目指す

☆キャリア教育の視点をベースに、主体性・探究的態度を育成し進路実現につなげる。

④ 5年間で達成を目指す具体的目標

5年目(H32)には

<重点課題として>

- I **知識・思考・協働を重視した授業**を推進し、授業アンケートで**4.6以上の評価**を目指す
(※ H26 各教科平均値:4.26、H27:4.57)
- II **進路決定率100%**を今後も維持し、**10年連続**の達成を目指す(※ H23 年度より 100%)
- III **皆勤生徒が20人以上**に増加することを目指す (H25 16名 H26 7名 H27 9名)
- IV **90%以上の部活動加入率**を目指す(H26 新入生 82.2%H27 新入生 74.3%H28 新入生 82.0%)
- V **「五高サポーター」事業**の継続及び定着を目指して、さらに推進していく (※ H25 年度開始)

<その他の目標>

- 運動部他 全国大会出場3部以上
- 文化部の活発な発表活動
- 国公立大学への入学者を継続
- 看護師養成系学校への入学者を継続
- 資格取得受験者及び上位級合格者の拡大・・・簿記・情報処理、食物・被服、英検、漢検、数検、危険物取扱者等
- 地域貢献活動への積極的参加・・・学校参加に加えて個人参加も

⑤ 目標を達成するための具体的な取組

1 各教科・科目の指導について

- 全教職員が共通意識を持ち、**授業の開始時・終了時の服装・礼法指導**を徹底する。
- 各教科において、**キャリア教育**の視点(学ぶ・生きる・働く)を意識した指導を展開する。
- **「五高ベシック」**の充実を図り、**分かる喜び**を重視し、**基礎学力**を身に付けさせる。
- **大学や地域と連携したアクティブ・ラーニング**等、生徒主体の学習形態を研究・実践する。
- 課題の与え方を工夫し、**家庭学習**を習慣付ける。
- **「キャリア教育を念頭に置いた各教科版アクティブ・ラーニング」**を研究し推進を図る。

2 進路指導について

- 3年間の**系統的な進路ガイダンス**を推進し、**早い段階からの進路意識の高揚**を図る。
- 生徒一人一人の**進路希望**を実現させるため、個に応じたきめ細かい進路指導を行う。
- 2学年で**インターンシップ**を全員参加で実施し、**将来の自分と社会との繋がり**を自覚させる。
- 自分を**アピール**できるものを意識して持たせる。特に**資格取得**を奨励し、積極的に支援する。
- **進学及び就職先の開拓**に努める。特に国公立大学・看護系の進学についての可能性を広げる。
- **進路先の追跡調査**を行い、進路指導の改善につなげる。

3 生活指導について

- 生徒一人一人の行動を見守り、**厳しくかつ丁寧で温かい指導**を行う。
- 全教職員の共通理解を図り、**問題行動を起こさせない予防指導**を推進する。
- **全校一斉の整容指導**を定期的・組織的に徹底し、日常的に、挨拶やマナー指導を加えて展開し、**規律ある生活習慣**を確立する。特に**立ち止まってする挨拶**の徹底を図っている。
- **清掃指導**を徹底し、社会性や公共性を育成する。
- **教育相談機能**の充実を図るとともに、生徒の変化を複数の目で捉え情報を共有する。

4 特別活動・部活動等について

- 生徒会執行部を核とした、**生徒による自主的な生徒会活動**を支援する。
- 部活動を通して達成感を醸成し、相互錬磨を図る。また放課後の有意義な活動の場とするために、**部活動への全員参加**を奨励し活性化を図る。
- **インクルーシブ教育**を推進し、共生意識を涵養する。

5 地域との連携について

- **地域貢献活動**等により、他に認められる喜びを経験させ、自ら社会に貢献しようとする態度を育成する。
- 本校の教育活動を地域社会に発信し、「**五高サポーター**」事業を学校と地域を繋ぐ持続可能な取組とする。